

あなたと議会をむすぶ

議会広報

令和5年11月22日発行

第176号

あじがさわ

発行…青森県鱒ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鱒ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



～ 4年ぶりの町民文化祭 ～

町民文化祭が4年ぶりに行われ、芸能部門では町文化振興連絡協議会の加盟団体、地域婦人団体連絡協議会など23団体が、日頃練習を重ねたコーラス、舞踊、三味線、吹奏楽などを発表しました。

このうち、たていし愛児園（渡邊ルミ子園長）の卒園児6名は、和太鼓演奏を披露しました。

令和5年11月4日

9月
定例会号

令和4年度決算	2～3
第3回定例会	4～5
一般質問（2人が傍聴）	6～8
各常任委員会・決算特別委員会審議のようす	9
議会活動	10

鱒ヶ沢町議会ホームページへアクセス

鱒ヶ沢町議会 検索

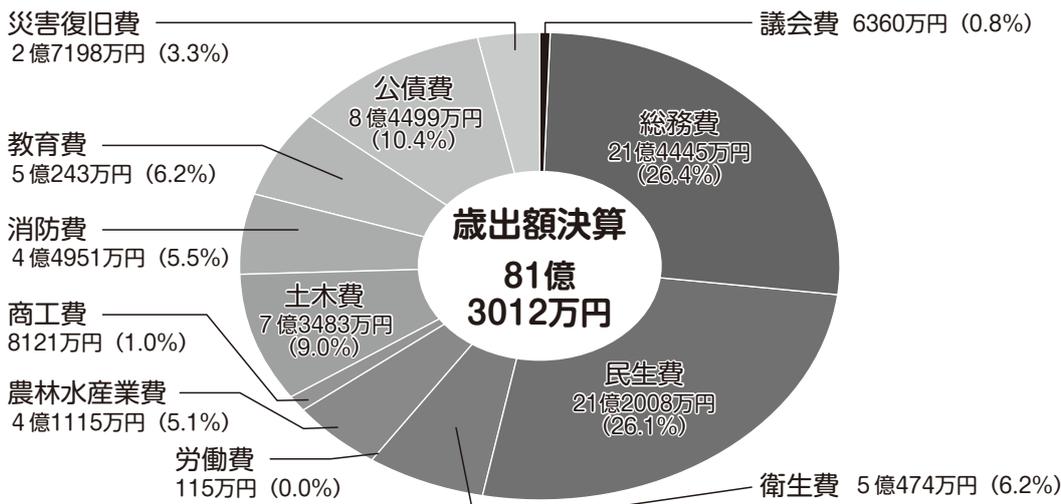
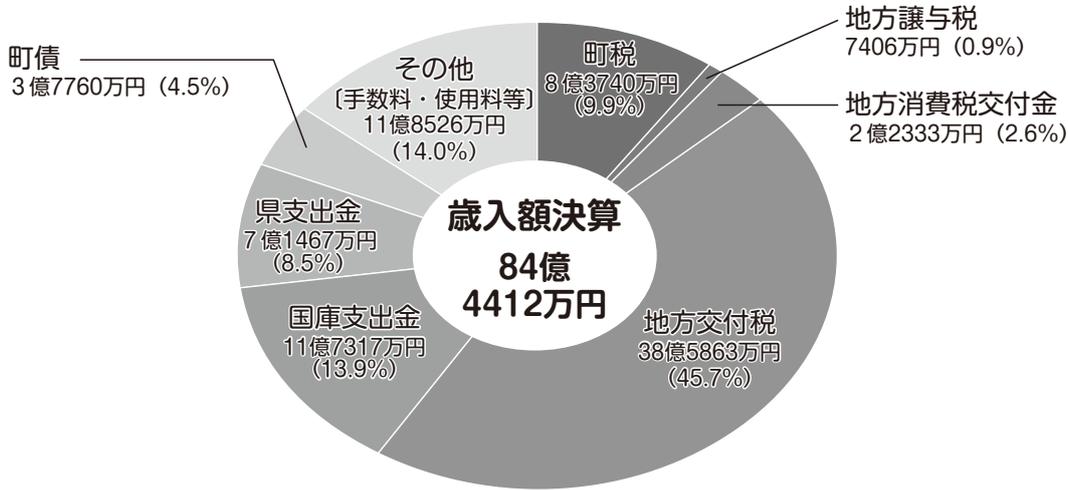


QRコードは
こちらから

一般会計決算額 歳入額84億4412万円
 歳出額81億3012万円

認定

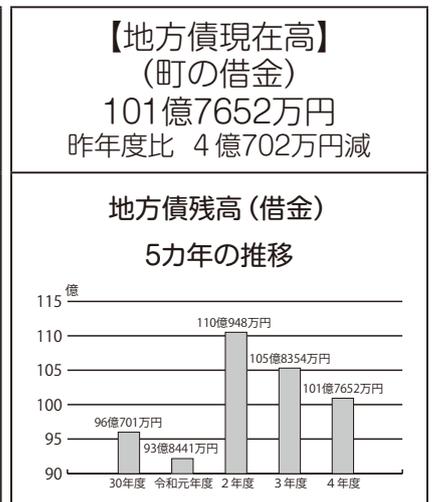
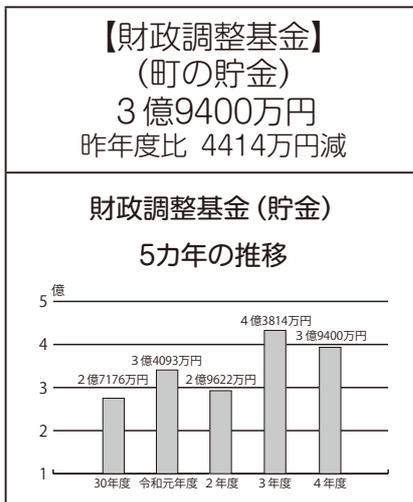
一般会計決算額内訳



令和4年度の決算は、第3回定例会において審議されました。一般会計は、議員全員による決算特別委員会（菊谷忠光委員長）を設置して審査。特別会計、企業会計決算は総務文教・産業建設の各常任委員会に付託し、審査した結果、全ての決算を原案どおり認定しました。

一般会計決算実質収支と財政調整基金・地方債残高

令和4年度一般会計 実質収支額 (残ったお金) 2億2578万円
●実質収支(黒字) 2億2578万円 3億1400万円 (歳入歳出差引額) -8822万円 (翌年度へ繰り越す財源)
実質収支のうち約半分を ▽財政調整基金に積立 (貯金) 1億1300万円 ※昨年度比3600万円増 ▽令和5年度に繰越 1億1278万円



令和4年度 決算

各会計決算の 状況は



各会計決算状況

※決算額は万円単位（四捨五入）で表示しています

会計別	歳入	歳出	差引額	地方債（借金）残高	
一般会計	84億4412万円	81億3012万円	3億1400万円	101億7652万円	
特別会計	国民健康保険事業	14億9440万円	14億936万円	8504万円	—
	農業集落排水事業	1億5829万円	1億5545万円	284万円	8億9309万円
	小規模水道事業	739万円	627万円	112万円	1619万円
	公共下水道事業	3億6879万円	3億5772万円	1107万円	23億9554万円
	墓地公園事業	82万円	75万円	7万円	—
	介護保険事業	15億8050万円	14億9664万円	8386万円	—
	後期高齢者医療	1億5757万円	1億5134万円	623万円	—
	水産業振興事業	4165万円	3300万円	865万円	—
財産区特別会計	272万円	211万円	61万円	—	

※財産区特別会計は、5財産区（北浮田、長平、浜横沢、中村、舞戸）の合計額となっています。

企業会計決算状況

※決算額は万円単位（四捨五入）で表示しています

水道事業	収益的収支			資本的収支		
	事業収益	事業費用	差引額	資本的収入	資本的支出	差引額
	2億7379万円	2億4560万円	2819万円	1億4937万円	2億6161万円	△1億1224万円
	地方債残高 13億7694万円（平成29年度から旧簡水特別会計と統合）					

※資本的収支不足額1億1224万円は、当年度分損益勘定留保資金8481万円及び繰越利益剰余金処分額2743万円を補てん

一般会計主な事業

道路新設改良費
1億1946万円



災害援助費・災害廃棄物処理費
2億3237万円



災害復旧費
2億7198万円



現地審査
(7月20日実施)



決算審査
(7月12日～20日実施)



決算審査は、毎年度、町会計管理者等が提出した決算書類及び証書類などを、町長からの依頼により監査委員が審査します。町各担当から歳入・歳出項目毎に説明を求め確認、決算年度に実施した主な事業について、現地審査を行っています。監査委員はこの後に、決算審査意見書（5ページ）を作成しています。

監査委員による
決算審査

令和5年
第3回
定例会

会期
9月8日~14日

物価高騰対策費を含む 補正予算案を可決

令和5年第3回定例会が9月8日から14日までの日程で開かれました。本定例会には、議案37件、諮問2件、報告3件が上程されました。11日の一般質問では、議員3名が熱中症対策のための公共施設の一般開放について、町営墓地公園事業の今後のあり方について、鳥獣による農作物の被害対策に関する取組みについてなどを町政へ問いました（質問内容は6〜8ページに掲載しています）。

最終日には、13日の各常任委員会、決算特別委員会で審査（内容は9ページに掲載しています）された議案等39件が本会議において審議の結果、原案どおり議決されました。

また、議員から町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について発議1件が上程され、議決されました。

▼犯罪被害者等支援条例の制定について
可決

犯罪被害者等の支援に関する施策を総合的に推進し、もって町民が安心して暮らすことのできる社会の実現に寄与するためのもの。

【主な内容】

町の責務として、関係機関等との適切な役割分担を踏まえて、犯罪被害者等の支援に関する施策を策定し、実施する。



▼令和5年度一般会計補正予算
可決

一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ3億4,929万4,000円増額し、補正後の予算総額は92億8,257万円となりました。

【主な歳入補正予算】

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 5,520万2,000円
- ・道路橋梁災害復旧事業費補助金 1億45万円
- ・道路橋梁災害復旧事業債 4,300万円
- ・公立社会教育施設災害復旧費補助金 1,600万円
- ・社会教育施設災害復旧事業債 720万円
- ・前年度繰越金 1億1,278万

券発行業務)

- 5,885万円
- 旧医師住宅改修事業費（鯉ヶ沢高等学校生徒用寮関係） 4,000万円
- 小学校管理費（タンク設置事業） 2,400万円



改修される旧医師住宅

【主な歳出補正予算】

- ・公共土木施設災害復旧費（令和5年発生道路災害復旧事業赤石溪流線） 1億4,350万円
- ・社会教育施設災害復旧費（令和4年発生社会教育施設災害復旧事業舞戸公民館エレベーター） 3,500万円
- ・基金積立金 1,698万2,000円

▼西北五環境整備事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び西北五環境整備事務組合規約の変更について
可決

西北五環境整備事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び西北五環境整備事務組合規約の変更について、議会の議決を求めるためのもの。

令和6年1月1日施行

▼人権擁護委員候補者の推薦
適任

12月31日に任期満了となる人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任と判断するもの。

▽再任

成田守男氏

（舞戸町）

工藤一幸氏

（中村町）

【任期】

令和6年1月1日から3年



提案理由を説明する新保勝敏議員

▼ 発議第3号

町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

可決

9月14日、町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について、議員発議として条例案が提案され、可決されました。

地方自治体議員は、その自治体に対する請負についてこれまで禁止されていましたが、地方自治法の一部改正により年300万円まで可能となりました。

この条例案は、請負の

状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び事務執行の適正を図るため提案されたもので、新保勝敏議員が代表し趣旨説明を行いました。

【内容】

報告の義務

議員は毎年6月1日から6月30日までの間に、前会計年度における町に對する請負について、議長に請負内容（対象とする役務、物件等、契約締結日、契約金額、前会計年度において支払いを受けた額等）を報告しなければならない。

公表

議長は、議員からの報告の一覧を作成し、公表しなければならない。

条例の規定は、令和5年4月1日に始まる会計年度における請負から適用。



決算審査意見を述べる増田晶夫代表監査委員

決算審査意見

監査委員

増田 晶夫
佐藤 昭司

的確な財政運営計画のもと
効率的で最適な
行政サービスの提供を

令和4年度の歳入について、町税収入は前年度と比較し1480万6000円増収の8億3739万5000円となっている。町税の収入未済額は前年度に比べ361万9000円増の3427万1000円となっている。今後も収入未済額の解

なっており、寄附者の意思を尊重しながら、地域振興につながる使途とされたい。

歳出についての増減は、新庁舎建設事業完了による本庁舎建設費1億4266万8000円、新型コロナウイルス感染症対策費1億2406万4000円など減額と

なっており、寄附者の意思を尊重しながら、地域振興につながる使途とされたい。

歳出についての増減は、新庁舎建設事業完了による本庁舎建設費1億4266万8000円、新型コロナウイルス感染症対策費1億2406万4000円など減額と

なっており、寄附者の意思を尊重しながら、地域振興につながる使途とされたい。

歳出についての増減は、新庁舎建設事業完了による本庁舎建設費1億4266万8000円、新型コロナウイルス感染症対策費1億2406万4000円など減額と

消に向けた滞納者の現状把握と実態に即した適切な措置を講じ、未収金の解消に尚一層の努力を望むものである。

寄附金のうち、あじがさわ未来応援寄附金の額は、前年度と比較し3618万5000円減の3億1269万1000円と

なっており、寄附者の意思を尊重しながら、地域振興につながる使途とされたい。

歳出についての増減は、新庁舎建設事業完了による本庁舎建設費1億4266万8000円、新型コロナウイルス感染症対策費1億2406万4000円など減額と

なっており、寄附者の意思を尊重しながら、地域振興につながる使途とされたい。

歳出についての増減は、新庁舎建設事業完了による本庁舎建設費1億4266万8000円、新型コロナウイルス感染症対策費1億2406万4000円など減額と

【要望】

補助金等の交付事務について

各種団体へ支出している補助金等は公金であり、厳正な会計処理が求められる。各種団体が行う事業の目的、効果を勘案し、また公益性や公正性、必要性を見極め、補助金等の検証・見直しや交付先団体等との調整並びに適正な指導及びチェック機能の強化を図ってほしい。

公金の取扱いについて
公金の取扱いに際しては、服務規律を厳正に遵守し、それぞれの責務を再確認し、適正に処理していただきたい。また、各課が管理している通帳、印鑑並びに現金の出入状況等は、定期的に点検し、事務処理において改善を要する場合は、早期に改善を進めてほしい。

一般質問



菊谷 忠光議員

熱中症対策のための
公共施設の一般
開放について

問・異常気象と猛暑が続いた今年の夏は、全国的に熱中症搬送されるケースが多くありました。涼を求める町民に対し、暑さをしのぐ策として、公民館などの公共施設を無料で開放することはできないか。

答弁・神社会教育課長

近年の地球温暖化や気候変動の影響により、年々熱中症のリスクが高まっており、町民の命や生活に直結する深刻な問題と認識しています。

熱中症から町民の命と

9月定例会では、3名の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

暑さをしのぐ策として、公共施設を一般開放できないか
答へ来年度に向け一般開放を検討していく



エアコンが設置されている公共施設の様子

開放するに当たり、使い勝手が良く、適していると思われる施設はどこか考えられるか。

答弁・神社会教育課長

一般開放が可能な施設としては、施設の開館時間や予約状況等にも関係しますが、中央公民館、舞戸公民館、山村開発センター、日本海拠点館が現時点では可能ではないかと考えています。

健康を守るため、来年度に向けて公共施設の一般開放を検討してまいります。

問・町の公共施設には、駐車場の広さや部屋の大きさなど様々な問題があると思うが、施設を一般

答弁・一戸ほけん福祉課長

町民対象の事業としては、健康相談、認知症カフェなどが考えられます

が、乳児検診や家庭訪問など、他の事業との兼ね合いもあるため、猛暑が予想される期間に合わせて何回か実施できるよう、来年度に向けて検討してまいります。

意見・熱中症対策のための公共施設の一般開放に向けて、集まった町民が困らないように、設備や備品の整備も合わせてお願いしたい。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆世界自然遺産登録30周年を迎えた白神山地関連事業の取組みについて

■登録30周年を迎えた世界自然遺産白神山地に関する今年度の事業内容と、国内向けの観光やその周知及び情報発信等の取組みを伺います。

■今年度の取組みとして、白神の森遊山道を散策できるガイド付きトレッキングと、鱒ヶ沢駅から白神の森遊山道までのタクシーキャンペーンを土日祝日限定で実施しています。

■事前予約が必要ですが、今年4月から8月まで558人の利用がありました。

また旅行会社と連携した特別ツアーを県内、仙台、東京方面を対象に3回実施し59人の参加がありました。トレッキングにヨガ体験やアスパラ収穫体験、地元の食事提供等を組み合わせたこの特別ツアーは大変好評で、紅葉の見頃である10月末にも4回目を計画しています。

30周年記念のテレビ番組「魅力満載！鱒ヶ沢 舞の海&日菜子の旅日記」を制作し、白神山地、白神の森遊山道、赤石溪流、ヒラメ、イトウなど、町の自然や特産品のPRを行いました。

■町では、将来的に白神山地とどのように向き合っていくかと考えているのか伺います。

■町ではこの30年、白神山地の環境保全と観光振興の両立を図りながら、施設の整備関連事業に取り組んでまいりました。

■残念ながら昨年8月の大雨災害により町道赤石溪流線、県道白神ラインが通行止めとなり、世界遺産地域を直接訪れることができませんが、赤石溪流や白神の森遊山道など、新たな楽しみ方やプロモーション方法を工夫し、集客効果を上げるよう、また環白神エコツーリズム推進協議会等と連携し、白神山地の環境保全、地域振興、観光振興に取組んでまいります。



渋谷 悦男議員

町営墓地公園事業の今後のあり方について

問・当町は、少子化と人口減少に伴い、今後、墓地の需要は減少傾向に向かうと思われるが、町は、墓じまいや墓地返還等の改葬状況をどのように捉えているのか。

答弁・小野総合窓口課長

はじめに墓地公園20区画の返還の理由ですが、使用しないため、必要がなくなった、他に埋葬場所がある、他の埋葬場所を購入した、後継者がいない、家族がいない、ほかの地域に移住するといったものが主な理由で、返還された区画は全て墓地が構築されていない区画であります。

合葬墓の設置について町の考えは 答へ運用方法を含め近隣市町から情報を収集する

改葬、いわゆる墓じまいは87件の届出がありましたが、うち1件はお骨だけの移動でしたので、実質の墓じまいは86件となっております。

内訳については、町外の墓地へ改葬したものの60件、墓地公園以外の町内の墓地へ改葬したものの10件、墓地公園へ改葬したものの16件となっております。

墓地を継承する家族が地元にはいないなどの理由により、継承者の生活圏にある墓地に移動しているのではないかと考えられます。

町の人口も墓地公園供用開始時の平成12年3月31日現在では1万4568人でしたが、令和5年3月31日現在では8888人と、5680人減少しており、今後も人口減少はさらに進むものと推測され、当町に継承者が居住していない方の改葬は今後も増える可能性が高いと考えています。



大高山にある墓地公園のようす



始し、本年度で24年目を迎えました。

第1期分の316区画のうち、本年8月末までに225区画の使用申込みがあり、うち20区画が返還され、墓石を構築している150区画と構築していない55区画の合計205区画が使用されています。

現在も、年に数件、町内の墓地から改葬される方や新たに墓地を求めめる方の使用申込みがあります。

墓地公園の運営は住民サービスの一環であり、また現在の使用区画については永代管理する必要があるため、現状のままの管理を続けていきたいと考えています。

問・墓を求める家庭がある一方、墓じまいされる家庭や身寄りのない単身者、高齢のご夫妻など、お墓を見守る人のいない家庭にとつて、合葬墓は今後必要な施設だと思いが、町の考えを伺います。

答弁・小野総合窓口課長
町墓地公園は、墓地不足のため、新たな場所が欲しいとの多くの要望を受け、平成11年に整備され、平成12年から供用開

答弁・小野総合窓口課長
昨今、お墓の管理等については社会情勢の変化に伴い、様々なケースがあるものと認識しています。

合葬墓を供用開始した弘前市や今後整備を予定しているつがる市、藤崎町の運用の仕方などを含め、いろいろな情報を収集した中で今後の方向性を検討したいと考えています。

意見・合葬墓の設置については町民アンケート調査も必要と思いますが、墓地行政は、時代の流れと社会の変貌により、どこの市町村でも同様の問題が浮き彫りになっているものと思えます。

合葬墓の必要性を認識され、早期設置の実現に向けて鋭意努力されることをお願いいたします。



佐藤 薫議員

鳥獣による農作物の被害対策に関する取組みについて

問・有害鳥獣が与える農作物への甚大な被害は、営農意欲の減退、耕作放棄・離農増加など、農業に大きな悪影響を与えています。

鳥獣被害対策の取組状況と効果について伺います。

答弁・千島農林水産課長
取組みについては、猿の追い払いや熊出没時の巡視、また、捕獲は、町鳥獣被害対策実施隊（以下「実施隊」とする）として委嘱している町猟友会が5月から11月まで毎週、週4日間、2名ずつ交代で巡回し対応しています。



農地近くに現れた猿

鳥獣被害対策のさらなる強化推進が必要では 答へ有害鳥獣の被害対策にしっかりと取組む

また、町鳥獣被害防止

対策協議会の事業として、実施隊への当番日以外での捕獲に対する報奨金支払い、猿を捕獲する箱わなの買い増しや鳥獣を追い払うための花火の無料支給、畑などに電気柵を設置した場合の助成金の支給、新規に狩猟免許を取得する場合の補助金の交付、支給といった事業を行っています。効果については、令和4年度の捕獲数は、猿が58頭、熊が9頭です。県が実施した猿の生息調査では、町内区域で猿

は毎年50から60頭の子供が生まれていると推測されていますが、令和3年度は108頭、それ以前でも100頭前後の猿を捕獲しているため、全体の生息数はさほど増えていないものと認識しています。

今年、熊の目撃数が多く、箱わな、おりを設置し、9月5日現在で21頭と、近年では最大の捕獲数となる見通しです。従って、実施隊でもある猟友会の活動は、かなり効果が上がっているものと認識しています。問・効果的な鳥獣被害対策として、ICT技術を活用した被害対策の有効性が各市町村において指摘されていますが、当町の取組みについて伺います。

答弁・千島農林水産課長
当町では、猿を捕獲するためのセンサー付きの箱わなが1基あります。

これは猿が箱わなのセンサーに反応すると役場内にあるパソコンに映像が映し出され、猿が箱わなに入るのを確認しパソコンのボタンを押すと扉が閉まる仕組みになっています。

令和3年度に導入し7頭捕獲しましたが、昨年度はゼロ頭、今年春に2頭捕獲しています。

問・町の鳥獣被害防止計画によると、鳥獣の捕獲等に関し、近隣市町村との広域連携の必要性に触れていますが、具体的な取組みを伺います。

答弁・千島農林水産課長
近隣市町村との共同で

の追い払い活動は実施していませんが、隣接する深浦町とは鳥獣対策についての情報交換、情報共有をしており、また、追い払いについては、各関係機関で組織する町鳥獣被害防止対策協議会の中で情報共有しています。

問・今年のような猛暑の中では、巡回される実施隊員も大変苦労されたようですが、国が示している報酬の基準額に町が少しでも上乗せして、報酬を上げることが検討できないか。

答弁・千島農林水産課長
現在実施隊は、隊員の高齢化が進んでおり、成り手不足や巡回する人がいなくなるのではないかと心配があります。

今後、隊員の処遇面や支援、報酬の額や捕獲の報奨金、猟友会への助成等々、どのような支援が良いのか、関係者と意見交換しながら対応を考えてまいります。

問・農業者にとつてはせっかく作った農作物が荒らされ被害が発生するなど経済的損失のみならず、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加、さらには森林の荒廃など、実際の被害額と比較できないくらい地域全体に大きな影響を及ぼしています。

有害鳥獣被害対策について、さらなる強化推進が必要と思うが、町長の考えを伺います。

答弁・平田衛町長

有害鳥獣の被害対策については、これまで、またこれからも町がしっかりと取組んでいかなければならないことと十分認識しているところです。ご提案のことについても、十分内部で検討し、しっかりと対策に努めてまいります。

意見・住民の生活環境の確保、安全、安心な暮らしを図るといふ観点からも、鳥獣被害対策の強化を要望いたします。

常任委員会・決算特別委員会の審議

9月13日

第3回定例会では、議案を各常任委員会（総務文教常任委員会、産業建設常任委員会）に付託し審議、令和4年度一般会計歳入歳出決算案は、議員全員による決算特別委員会（菊谷忠光委員長）を設置し詳しい審議を経て、本会議で決定されました。常任委員会、決算特別委員会で審議された内容を一部抜粋してお知らせします。

総務文教常任委員会



総務文教常任委員会のようす

【犯罪被害者等支援条例の制定について】
 團（田中委員）これは町独自の判断での提案ですか。また支援はどのような設定していますか。
 答（神総務課長）全国的なもの付近では、弘前市、藤崎町が既に制定し

ています。警察署から初期的な支援を検討してほしいという話もあり、深浦町と歩調を合わせて同じ内容での提案に至りました。支援は、県の犯罪被害者支援制度へつなげるための一時的な支援として行っています。

【物価高騰対策について】

團（佐藤薫委員）商品券

1人6000円を各家庭に配布予定と説明がありました。年内に各家庭に届くと理解してよろしいですか。
 答（神総務課長）年内には配布したいと考えています。

【旧医師住宅改修事業について】

團（佐藤薫委員）鯉ヶ沢高校の生徒用に改修することですが、つがる西北五広域連合から財産移管を受ける時期はいつ頃か。食事の提供、管理体制で決まっていることはあるのか。最低限の備品については考えているのか。3点について確認させてください。

答（三上政策推進課長）

（昨年大雨で被災後の）修繕が終わり次第、町に移管予定です。管理は、専門の管理者、町民の協力を得て、また、生徒の生活状況については高校の協力を得て進めたいと考えています。

備品については、入居が決まってから準備したいと考えています。

決算特別委員会

【町斎場のエアコンについて】

團（佐藤薫委員）故障して全面的に改修が必要と聞いています。今年の夏は特に暑く、会葬の方が大変苦慮されたと聞いていますので、改修について見解を伺います。



町斎場の外観

答（小野総合窓口課長）早急に改修するというところで現在作業を進めているところです。

【川尻排水機場について】

團（神委員）古くなり、いつ壊れてもおかしくない状況であると聞きま



川尻排水機場の外観

す。町はどう考えていますか。

答（千島農林水産課長）老朽化は町としても認識しており、改修について何年も前から検討しているところです。大規模改修等も含め、改めて土地改良区の方と話をし検討していきます。

【森林環境整備基金について】

團（田中委員）積立に1172万5000円とありますが、今後どのように使っていくのか方向性を教えてください。

答（千島農林水産課長）令和元年度から森林環境譲与税が入っており、そ

れを積立て令和4年度末で残高が3000万円と少しあります。林道の維持管理や林道台帳の整備等に毎年使用しています。

要望（田中委員）令和6年度からは国民に森林環境税が賦課され、森林関連予算が大きくなると思われます。森林環境整備基金の使途計画のようなものを作り、森林の整備を進めていただきたい。

【公民館へのエアコン設置について】

團（東條委員）未設置の公民館が何か所かあり、災害時には避難所として指定されると思うので、設置が必要だと思いますが、いかがですか。

答（神社会教育課長）地区公民館には整備されていないところもありますので、今年のような暑さも考えて、来年度に向けて、整備していけるよう検討してまいります。

大浦光信公
慰霊祭



慰霊祭のようす

10月8日、光信公の館で大浦光信公慰霊祭が行われました。

この慰霊祭は毎年、光信公の命日であるこの日に、光信公の遺徳を偲び、偉業を称え、後世に伝承するために行われています。

町議会からは神孝議長が代表して出席し、神事後、玉串奉てんを行いました。

正副議長
事務局長等研修会



講演する龍崎孝氏

10月26日、青森県労働福祉会館（青森市）において、正副議長・事務局長等研修会が行われ、神孝議長、新保勝敏議長、菅委員長、菊谷忠光総務文教常任委員長、中井純一事務局長が出席しました。

講師には、テレビ番組にも出演している流通経済大学副学長の龍崎孝氏が招かれ、「日本の政治・経済の展望」と題しての講演がありました。

龍崎氏は、国の先送りにされてきた課題に対する、現政権の取組みや今後の衆議院解散の可能性などを話していました。

議会改革特別委員会
～議会基本条例施行後の活動を振り返る～



第10回議会改革特別委員会のようす

10月24日、町役場委員会室で第10回議会改革特別委員会が開かれました。

今回の委員会では、議会基本条例（令和3年6月1日施行）施行後の議会活動を振り返り、出来なかつた活動等をあげて、これからの活動につなげるよう話し合いをしました。

今後、再度委員会を開き、議長への報告書を作成することにしています。

第4回定例会の予定

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

開会中は町役場1階町民ホールのモニターに、議会のようすが流れています。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

▼12月8日（金）

開会予定です

《開会後の日程は

次のとおりです》

▽12月12日（火）

一般質問

▽12月13日（水）

総括質疑

討論、採決、閉会

特集 はつらつチャレンジャーは休載します。